

| | | | | |
|--|---|------|-----------|-------|
| 年度 2008 学期 前期 | 曜日・校時 | 木・2 | 必修選択 必修 | 単位数 1 |
| 授業科目/(英語名) | 総合英語 /Comprehensive English | | | |
| 対象年次 1年 | 講義形態 | 演習 | 教室 | |
| 対象学生(クラス等) | 2P19 | 科目分類 | 外国語科目(英語) | |
| 担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 上村 俊彦 /Eメールアドレス:yandi@sun.ac.jp /研究室: 非常勤控え室 /TEL: 813-5500 /オフィスアワー:木曜日開講時間の前後 | | | | |
| 担当教員(オムニバス科目等) | | | | |
| 授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 | | | | |
| <p>授業のねらい: オーセンティックな英語(英語母語話者による英文テキスト、ナチュラルスピードで録音された音声教材)を用いて、英語の4技能(読み、聞き、書き、話す)の習熟のためのトレーニングを行う。</p> <p>授業方法: 英文テキスト概要の把握や内容理解をするための Scanning や Skimming、英語による発信語彙の習得のための vocabulary building、英文テキストの listening、テキスト内容についての英語による Question and Answer などを中心に授業を進める。</p> <p>授業到達目標: 大学生、社会人として必要とされる英語の基礎力を習得する。センテンス・ベースの訳読重視を改め、パラグラフの構造、テキストの情報構造(旧情報と新情報)などに習熟し、テキスト全体の要旨を理解する英語の理解力を習得する。</p> <p>教材ウェブサイト上の英語辞書、手持ちの英々辞典、インターネット・サーチエンジンによる検索などを通じて、英語の語彙や語法に習熟する。</p> | | | | |
| 授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)(1300文字) | | | | |
| <p>授業内容(概要)</p> <p>使用する教材は、各課のテーマに関する「書き言葉」による英文とビデオによる「話し言葉」の英文の2種類の英語が学習できる。この2種類の英文テキストとその映像・音声教材を活用して、受講者の4技能「読み」、「書き」、「聞き」、「話す」をバランスよく高める授業をおこなう。</p> <p>これまで学んだ英語の文法や語彙を使って、英語で発信する能力(話したり書いたりする力)を伸ばすための演習(教材テキストを用いて、topic sentence や key words 探し、shadowing などの演習を含む)をおこなう。</p> <p>第1回 オリエンテーション 第2回 The melting pot 第3回 Independence day 第4回 Native Americans 第5回 Road trip USA 第6回 Mississippi River 第7回 The Civil rights movement 第8回 前半学習内容の整理(中間試験を含む) 第9回 Charity and volunteers 第10回 Hollywood and the Academy Awards 第11回 Jazz 第12回 Modern baseball 第13回 The world of Disney 第14回 Country music 第15回 学習のまとめ</p> | | | | |
| キーワード | オーセンティックな英語、英語の4技能 | | | |
| 教科書・教材・参考書 | Lander, J. S. 2006 <i>American Culture</i> Asahi Press (その他、必要に応じて教材プリントを配布予定) | | | |
| 成績評価の方法・基準等 | 中間試験 40% 期末試験 40% 課題レポート 10% リスニング試験 10% (所定の出席回数を上回った学生のみを評価の対象とする) | | | |
| 受講要件(履修条件) | テキスト音声教材を録音したCDを配布予定(媒体実費程度の負担が必要) | | | |
| 本科目の位置づけ/学習・教育目標 | | | | |
| 備考(準備学習等) | 英語辞書(電子辞書も可)を、毎回持参すること。 | | | |